



# 2019年横浜港

# ビッグニュース

横浜市港湾局

## 東アジアを代表するクルーズ客船発着拠点

**4月19・27日～5月6日** 日本初外国クルーズ客船4隻同時着岸  
大黒ふ頭の横浜ベイブリッジ側に、新たな客船ターミナルをオープンしました。ゴールデンウィークには大さん橋、山下ふ頭、大黒ふ頭で日本初の外国クルーズ客船4隻同時着岸が実現しました。  
横浜ベイブリッジスカイウォークを9年ぶりに開放し、1万5千人の市民が客船を見学しました。



アジア初！「ボート・オブ・ザ・イヤー」賞ファイナリスト、「クルーズ・オブ・ザ・イヤー2019特別賞」受賞！

クルーズ界で最も影響力のあるシートレード・クルーズ・アワードの「ボート・オブ・ザ・イヤー」賞ファイナリストに、アジアの港として初めて、横浜港が選出されました。また、日本外航客船協会の「クルーズ・オブ・ザ・イヤー2019特別賞」にも選定されました。2019年の客船寄港数は、188回と過去最高を記録しました。



### 官民連携したインバウンドの取り組み

国内外の来街者に向け、スマホ向けウェブアプリ「YOKOHAMA TRAVEL GUIDE」の運用開始、クルーズ旅客が割引や特典などを受けられる「クルーズ・フレンドリー・プログラム(126店舗加盟)」の導入、新港地区・大さん橋と桜木町駅を結ぶ市営バス「ピアライン」の新設などに取り組んでいます。



**10月31日** 新港ふ頭客船ターミナル「横浜ハンマーヘッド」がオープン

新港ふ頭に日本初の商業施設やホテルが一体となった客船ターミナル「横浜ハンマーヘッド」が10月にオープンし、第一船としてダイヤモンドプリンセスが寄港しました。



### クルーズ港をはじめとした国内外港湾との連携強化

新たに秋田県や、パルセロナ港湾局及び山東省港口集団有限公司と物流、クルーズ、環境、情報技術等の多くの分野に関する連携の覚書を締結しました。また、連携の成果として石川県金沢港と「レール&クルーズ」の新たな企画を実現することができました。



## 国際競争力強化への取組

**コンテナ取扱量300万個突破！**  
欧州航路再開

6年ぶりに2018年は、コンテナ取扱量300万個を突破しました。集貨・創貨の更なる取組強化を図るため、国際フェイダー航路の拡充に向けた東日本各港との連携強化(福島県との協定締結)、マースク社とMSC社の共同運航による欧州航路が寄港を再開しました。

**7月** 本牧ふ頭D-1コンテナターミナル供用開始  
再整備を進めてきたD-1ターミナルを供用し、本牧ふ頭で初めてとなるコンテナターミナルへの市営バス乗り入れを実現しました。

**7月** 東京2020オリンピック・パラリンピック大会期間中の円滑な物流機能確保の取組

ゴールデンウィーク中の官民一体となった取組の実績を活かし、横浜港物流対策会議を設置し、「使いやすいくつくり」に横浜港がワンチームとなって取り組みます。



**4月** 本牧ふ頭の再編整備・新本牧ふ頭の整備事業化

BC岸壁延伸、CD間埋立などの本牧ふ頭再編整備と、大水深高規格コンテナターミナル、高度なロジスティクス施設からなる新たな物流拠点を形成する新本牧ふ頭の整備が国により事業化されました。新本牧ふ頭は10月に埋立免許を取得し、本格的な工事に着手します。



**6月** 整備が進む南本牧ふ頭

南本牧ふ頭では、国内最大の水深18m岸壁を有するMC-4コンテナターミナルの供用に向け、整備が最終段階を迎えています。さらに、大手物流事業者3社が総延床面積9万㎡超の物流施設の竣工・建設を進めており、南本牧ふ頭の更なるロジスティクス機能強化が期待されます。

**2月27日** 横浜港を母港とするLNGバンカリング船の建造開始

LNGバンカリング拠点形成に向けて、横浜川崎国際港湾(株)、住友商事(株)、上野トランステック(株)の出資によるエコバンカーシッピング(株)が、横浜港を母港とするLNGバンカリング船の建造契約を締結しました。



## 開港160周年記念事業の開催

**10月** 開港160周年事業  
～YMF (Yokohama Maritime Forum) 2019等の開催～

開港160周年を記念して、横浜川崎国際港湾(株)がYMF2019を開催しました。国内外の海運会社やポートオーソリティなどが、海事分野の諸課題について議論し、横浜港から世界へメッセージを送る機会となりました。  
(一社)横浜港振興協会が主催する「横浜港開港160周年記念講演会」では、横浜川崎国際港湾(株)代表取締役社長 諸岡正道氏が講演しました。



## 記録的な高波等による台風被害

**9月10日** 700箇所にも及ぶ港湾施設が被災、復旧工事着手

記録的な高波、暴風、豪雨を伴う台風15号が9月に、19号が10月に首都圏へ上陸しました。南本牧はま道路、金沢区福浦・幸浦地区や本牧ふ頭D突堤の護岸、本牧海づり施設等、700箇所にも及ぶ港湾施設が被災しました。  
補正予算により、国等と連携しながら、早期復旧に向け、工事を進めています。



## 賑わう港

### 賑わい施設も大盛況

20年ぶりにドライドックによる大規模改修を行った重要文化財・帆船日本丸では、一般公開開始から観覧者550万人を達成しました。また、大さん橋では2018年度の来場者数が初めて300万人に到達、赤レンガ倉庫では、開業して以来、来館者が1億人を突破しました。  
さらに、臨港パークでは、9月20日から11月2日までラグビーワールドカップのファンゾーンが開催され、延べ15万人超が観戦しました。



## 山下ふ頭の再開発

IR・統合型リゾートの検討開始、暫定利用の推進等

IR・統合型リゾートの本格的な検討が始められました。また、再開業に伴う移転により生じた約9haの土地を活用し、2020年夏公開予定の「動くガンダム」や「ホテルシップの実施」に向けて準備するなど、暫定利用に向けた取組を進めています。